

事業計画書プランニング（ドラフト）

1. 事業概要

- **テーマ**: Raspberry Piを活用した流通業界のドライバー不足解決ソリューション
- **新製品案**: Raspberry PiをベースとしたAI搭載の配送最適化・自動運行支援デバイス
- **ターゲット**: 流通業界（運送会社・物流センター・中小運送事業者）

2. 補助金要件整理（ものづくり補助金 令和6年度補正）

- **対象枠**: 製品・サービス高付加価値枠
- **補助上限額**: 従業員数に応じて750万円～2,500万円
- **補助率**: 中小企業1/2、小規模事業者2/3
- **対象経費**: 機械装置・システム構築費（必須）、技術導入費、専門家経費、原材料費、外注費等
- **基本要件**:
 1. 付加価値額（営業利益+人件費+減価償却）の年平均成長率+3.0%以上
 2. 1人あたり給与支給総額の年平均成長率が都道府県最低賃金の直近5年間の年平均成長率以上、または+2.0%以上
 3. 事業所内最低賃金が都道府県最低賃金+30円以上
 4. （従業員21名以上の場合）次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の公表

3. 現状分析・課題

- ドライバー不足・高齢化・人件費高騰
- 配送効率の低下、運行管理の煩雑化
- 中小運送事業者のIT化・自動化の遅れ

4. 市場分析・ターゲット層

- 国内物流市場規模：約25兆円
- 中小運送事業者が全体の約9割
- IT・自動化投資意欲の高まり

5. 革新性・差別化ポイント

- Raspberry Piによる低コスト・高拡張性
- AIによる配送ルート最適化・自動運行支援
- クラウド連携による遠隔管理・データ活用
- 既存車両への後付け可能

6. 実現可能性

- Raspberry Piの量産・調達体制あり
- AI・IoT技術の社内開発実績
- パートナー企業（運送会社・ITベンダー）との連携

7. 実施効果

- ドライバー1人あたりの配送効率向上（例：20%アップ）
- 人件費削減・省力化
- 物流業界の持続的成長・地域経済への波及効果

8. 補助金活用計画

- 機械装置・システム構築費：Raspberry Piデバイス開発・量産
- 技術導入費：AIアルゴリズム開発
- 専門家経費：物流コンサル・IT専門家
- 原材料費：電子部品・筐体
- 外注費：クラウドシステム開発

9. 事業計画（3～5年）

- 1年目：試作・実証実験、パートナー開拓
- 2年目：量産・販売開始、導入先拡大
- 3年目：全国展開、サービス拡充
- 付加価値額・給与支給総額・最低賃金の目標値を設定

10. リスク・対応策

- 技術開発遅延：外部専門家活用
- 市場ニーズ変化：顧客ヒアリング強化
- 法規制対応：行政・業界団体と連携

※本ドラフトは「ものづくり補助金（令和6年度補正）」の要件に基づき作成。最新の公募要領・審査項目を必ず確認し、必要に応じて修正・加筆してください。

参考：<https://mirasapo-plus.go.jp/hint/29362/>